

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	協同組合の発展を通じた女性のエンパワメント
(2) 事業内容	ア) 販路開拓・収入創出強化 【ショールームの運営】 事務所に併設したショールームの運営は、ショールーム委員会(各村からの選任組合員)が毎月の会合にて必要事項を話し合い、運営している。1月～4月までの売上総額は5,757TK(工賃2,595TK)で、前4ヶ月より63%減少した(前4ヶ月売上15,537TK、工賃7,337TK)。一方で、各村の組合センターにおいてショールーム/テイラーショップを開設したいとの要望に基づき、ショールーム委員会のメンバーが主導して、開設に向けた動きを進めている。特に、帳簿の付け方・資機材の管理方法・顧客とのコミュニケーションなどのノウハウをショールーム委員会のメンバーが他の組合員と共有している。今後、各村の選任組合員で運営していたショールームを閉鎖し、各村の組合センターに新たにショールームを開設し、各組合で運営していく体制を整えていく。 【村民からのオーダー拡大】 2、3月に近隣の学校38校より制服のオーダーを合計758着受注し、33名の組合員が制作に取り組んだ(総工賃約67,000TK)。学校への働きかけ・先生方・親との話し合い・受注・制作・納品といったプロセスを、組合員がインストラクターのサポートを受けながら実施した。昨年の啓発WSや組合の活動が浸透してきたことにより、昨年に比べてオーダー数が2倍(昨年397着)、学校数も増加し(昨年10校)、地域に密着した体制が構築できている。 組合員個人でも村民から多くのオーダーを獲得している。組合員の1月～4月までの収入を前年1月～4月と比較した場合、横ばい、微減した組合員もいるが、半数以上の組合員は収入が増加し、全体で24%向上した。2014年9月より開始したミシン貸出制度により、現在合計9人の組合員が各組合センターよりミシンを借りて自宅に設置し、村民からオーダーを取っている。 また2015年1月と3月に、新たに組合員がテイラーショップを2店舗開設し、その地域のオーダーを獲得している。 イ) 協同組合・現地提携団体の能力強化・知識共有 【現地提携団体SUFスタッフへの研修実施】 組合のサポート体制を構築するため、SUFスタッフへトレーニングを行った(参加者20人、3日間)。事業の課題把握・構築に関するトレーニングを実施した。トレーニングには、女性向け職業訓練を実施しているパートナー団体の他2事業、農家の組合事業を実施している事業のスタッフも参加し、事業における課題・活動構築の方法を議論した。他類似事業と経験共有を行うことで、事業運営に教訓を活かしていくよう活動を進めている。ダッカなど村外での販売はこれまで実施しておらず、組合の体制・収入状況を鑑みながら

実施の必要性・意義を再検討している。

またインストラクター向けにファシリテーショントレーニングを行い、学校啓発セッションの実施、組合会合のサポートを行っている（インストラクター4人、半日×2回）。

【組織運営スキルの強化・定着】

5村の組合員が集まる場として、2014年12月18日に組合総会を実施した。インストラクターと組合員が準備を進め、組合員は参加費を払って集まり、各組合の代表者が2014年1年間の組合活動報告・会計報告・2015年へ向けた豊富を発表し合った（参加者110人）。

2015年1月からは、今まで学んだことを実践するため、組合員が中心となった会合を実施している。組合員が議題に沿って会合を進め、課題を話し合っている。現金出納帳の更新、組合の資金管理、資金の使途に関する協議、ローン希望する組合員の承認、ミシン貸出制度利用の承認、ミシンを含む資機材の在庫管理、収入やビジネス状況の報告、その他課題の協議等を行っている。縫製スキルを学びたい組合員は、会合にてインストラクターや他の組合員に依頼し、互いに教え合っている。特にシャツ・ブラウスは需要が高く、工賃も高いことから、積極的に学んでいる。

組合員による村の女性のための縫製教室は、3つの組合センターで実施され、一部では生徒から受講料を集めることに成功しており、自立的に継続できる体制に近づいている。

【スキルアップトレーニングの実施】

昨年11月にインストラクターが学んだ男性パンツのスキルを組合員へ教えるため、2015年1月にトレーニングを実施した（参加者12人）。高度な縫製技術が求められるが、学校制服の男子ズボンなどのニーズの高まりにより、組合員は熱心に学んでいた。

5月に組合員からの要望により、インストラクターがミシンメンテナンストレーニングを実施した。トレーニングに必要な経費は組合から支出し、組合員がセンターのミシンをメンテナンスしていく体制を整えている。

ウ) 啓発活動

コミュニティの人々への啓発活動として、学校啓発セッションを開始した。近隣の公立学校約10校にて、月1～2回（5ヶ月間）、Class6-12（12-16才）の青少年20名に対して、啓発セッションを提供し、参加者に学んだことを周囲の人々へ伝えてもらう。内容は、適切な意思決定・感情のコントロール・交渉スキル・人権・ジェンダー等であり、女性のエンパワメントにつながる素地を、地域の若い世代に対して啓発している。また組合活動を紹介し、興味のある女生徒には縫製教室に参加することを促している。裨益者数は、200人（10校20人）を予定している。

(3) 達成された効果	(ア) 協同組合員の継続的な収入の増加 ●ショールームの売り上げは低下したが、ショールーム運営で得たノウハウを活かし、各組合センターにおけるショールーム開設を検討しており、継続できる体制の構築を進めている。 ●村民からの受注による各組合員の収入は増加傾向にある。またより多くの村人・コミュニティからオーダーを獲得しており、各組合員が継続して収入を得られるようになってきている。 (イ) 女性のエンパワメント ●組織運営能力が向上し、各組合で各自の収入や縫製技術についての情報交換、組合会計帳簿の更新作業が行われている。会合の運営においても、司会進行・議事録の作成を組合員が担い、実施できるようになってきている。 ●近隣の学校にて啓発セッションを開始し、先生方を含めて生徒から好意的な反応を得ている。
(4) 今後の見通し	事業は概ね順調に実施できているが、特記事項に記した要因により、2ヶ月ほどの遅れが生じているため、今後これ以上の遅延が生じないように前倒しで事業を進めていく。大きな問題がない場合には、事業期間内に完了する見通しである。